

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

広島県 広島市

自治体名： 広島県広島市

担当課名： 広島市教育委員会学校教育部指導第二課

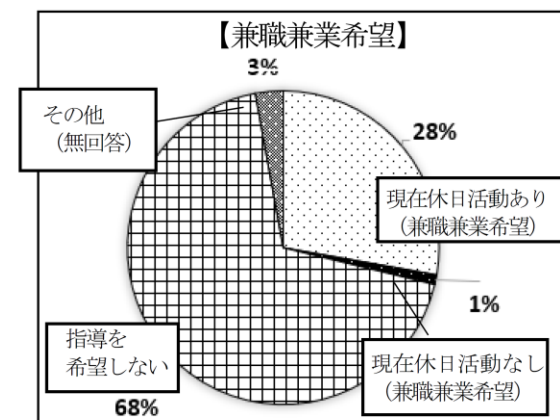
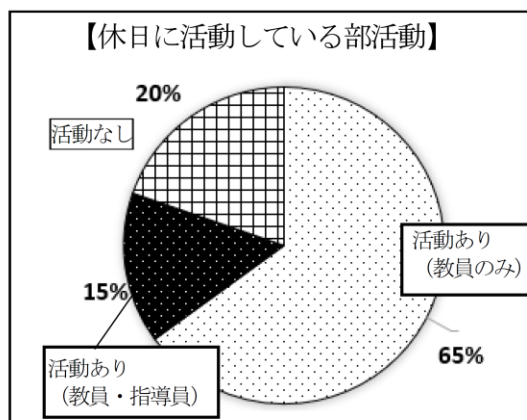
電話番号： 082-504-2487

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	906.69 km ²
人口	1,179,038 人 (令和7年1月時点)
公立中学校数	64 校 (中等教育学校1校含む)
公立中学校 生徒数	28,317 人 (令和6年5月時点)
部活動数	700 部活
市区町村の 協議会・検 討会議等の 設置状況	協議会・検討会議共に 未設置 R4,R5年度に広島市公立 中学校部活動の在り方に 係る意見交換会を開催
市区町村の推 進計画・ガイ ドライン等の策定 状況	推進計画・ガイドライン共に 未策定

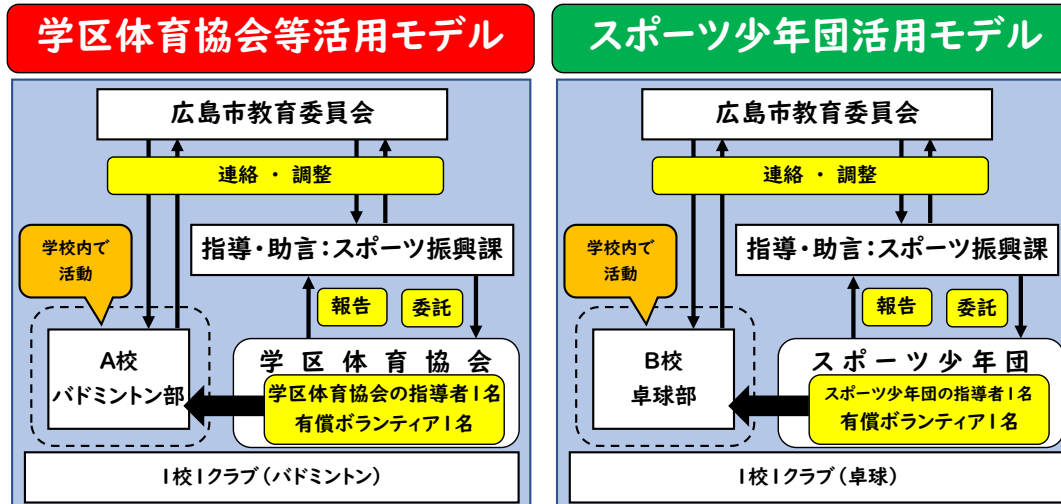
- 現在、本市の運動部活動は、主な15種目で、男女合計700部が活動している。
- 休日の部活動の地域移行に係る本市の実態
(管理職及び教員へのアンケート調査より〈令和4年10月〉)
 - ・ 約8割の教員が休日に部活動を行っている。
 - ・ 休日に部活動を行っている約3割の教員が休日の指導を希望しているが、約7割の教員は、休日の指導を希望していない。
- 学校部活動の現状（一般的な課題）
 - ・ 長時間勤務・大会引率等により教員の負担が大きい。
 - ・ 競技経験の無い教員が指導せざるを得ない場合がある。
 - ・ 教員では専門的な技術指導が難しい場合がある。
 - ・ 生徒数が少なく部活動の数が制限される場合がある。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

○ 運営体制図（市区町村における推進体制図）



○ 行政組織内での役割分担

◎ 教育委員会

- ・ 学校からの報告・相談を受け、必要な指導・助言を行う。
- ・ モデル実施について、スポーツ振興課と必要な協議を行う。
- ・ モデル校への支援策をスポーツ振興課と検討する。

◎ 首長部局

- ・ 学区体育協会、スポーツ少年団との委託契約に係る事務を行う。
- ・ 学区体育協会やスポーツ少年団への支援策を教育委員会と検討する。

年間の事業スケジュール

令和6年6月	モデル実施に向けた準備
令和6年7月	・モデル校と指導者の打合せ ・指導者研修会開催
令和6年8月	モデル実施団体と委託契約締結
令和6年9月	地域移行モデル事業活動開始
令和6年10月	指導者実技講習会の開催 (広島県との共催)
令和6年11月	指導者実技講習会の開催 (広島県との共催)
令和6年12月	・指導者実技講習会の開催 (広島県との共催) ・モデル校視察 (モデル実施状況把握)
令和7年1月	・モデル事業終了 ・モデル校へのアンケート実施 (教員、指導者、生徒、保護者) ・次年度モデル内容検証 ・指導者実技講習会の開催 (広島県との共催)
令和7年2月	次年度モデル校参加公募
令和7年3月	・事業完了報告書、成果報告書 等の作成

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（0部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	13人	全体の運営スタッフ数	4人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
早稲田学区体育協会	学区体育協会	バドミントン	週1回 （休日）	8:00～ 13:00 の間に2時間 半の活動	中1_5人 中2_7人 中3_5人	9月 ～1月	学校 体育館	8人	2人	なし	中体連：部活動 その他：参加なし
戸坂卓球スポーツ少年団	スポーツ少年団	卓球	週1回 （休日）	9:00～ 12:00	中1_8人 中2_7人 中3_15人	9月 ～1月	学校 空教室	5人	2人	なし	中体連：部活動 その他：地域クラブ

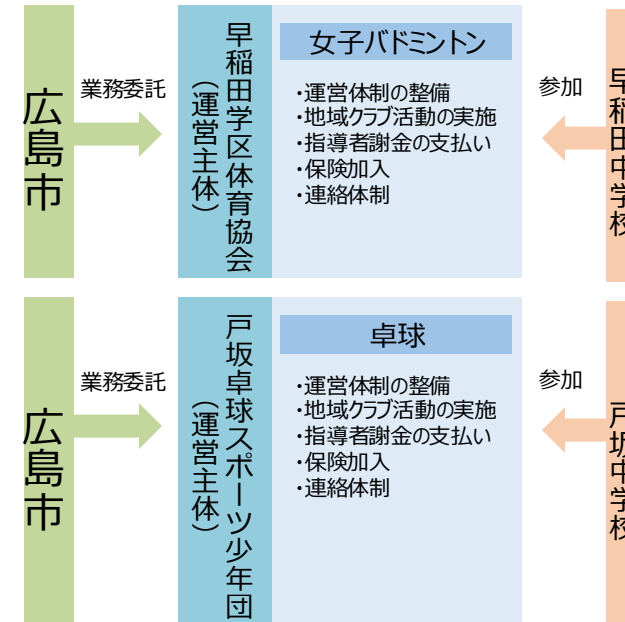
2.実証内容と成果

主な取組例

●学区体育協会、スポーツ少年団活用モデル 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バドミントン、卓球
運営団体名	学区体育協会、スポーツ少年団
期間と日数	バドミントン：9月7日～1月25日 (月4回程度) 卓球：9月7日～1月25日 (月4回程度)
指導者の主な属性	学区体育協会バドミントン部 スポーツ少年団指導者
活動場所	早稲田中学校、戸坂中学校
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等(年額)	無料 ※先行実施するモデル校の生徒に 不利益が生じないようにするため。
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う
- 主任指導者
役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う
- 運営補助者
役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保__①

取組事項

休日の指導や大会の引率等による長時間勤務の実態、競技経験のない教員が顧問を務めなければならない状況や、約7割の教員は、休日の指導を希望していないという状況から、教員に代わって休日の指導を行う指導者を確保する必要があるため、競技団体やスポーツ少年団、大学等と連携し、指導者を確保する。

取組の成果

長年の活動実績を有する学区体育協会、スポーツ少年団という地域に密着した団体へ委託したことで、スポーツ少年団等の指導者が地域の団体や、OBに声をかけ、指導者の人数を増やすことができた。

今後の課題と対応方針

指導者の確保に当たって、スポーツ少年団の指導者から、地域在住の団体OB（大学生、社会人）へ協力を依頼した場合に、団体OB等は快く引き受けてくれることがわかった。

本格的な部活動の地域移行において、他の地域スポーツ団体においても、こうした有用な確保策を提案・実施していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保__②

指導者研修の内容

1 目的

- ・ 広島県と連携し、公立中学校の運動部活動の地域移行に係る指導者の確保に向けて、今後の運動部活動等の指導希望者に対する研修を行う。
- ・ トップス広島に加盟している県内チームと連携し、中学校部活動の地域移行に関わる指導者を対象に指導者研修を実施する。

2 内容

- ・ 指導スキルや運営方法等をトップチームから伝授
- ・ 指導者の実情や選手・チームの状況に応じた指導方法を、実技指導、指導の見学及び質疑を交えながら共有等を行う。

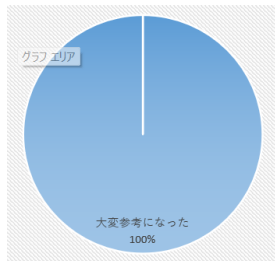
指導者研修の参加実績

1 バドミントン

(1) 令和6年9月14日 (参加者11人)

(2) 令和6年10月19日 (参加者14人)

講師：広島ガスバドミントン部

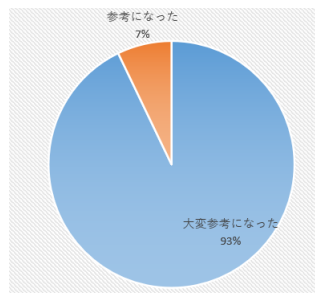


(事後アンケートより)

2 ソフトテニス

(1) 令和7年2月9日 (参加者17名)

講師：NTT西日本ブルーグラウンツ



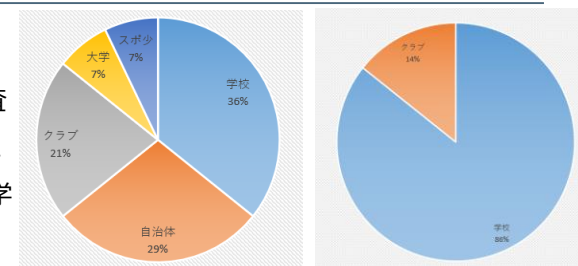
(事後アンケートより)

受講者の声

- ・ 講習会の練習内容の一部を指導に取り入れるとともに、他の指導者へ伝達し、内容の指導ポイントや練習の効果を自団体に共有できた。
- ・ 練習のバリエーションや、選手への声のかけ方、どのような意図をもって指導されているのか等を学ぶことができ、とても参考になりました。
- ・ 一つ一つの指導法とその根拠が明確であった。また、経験者・初心者の能力別での指導が参考になった。今後、取り入れていきたい。

今後の課題と対応方針

- ・ 研修会実施後のアンケート調査から、参加者の満足度が高いことが分かったが、参加者の多くは、学校関係者（教員や部活動指導員）であった。
- ・ 今後、学校の教員に代わる指導者を確保していくためにも、地域で中学校部活動の地域移行・地域連携に携わりたいと考えている指導者の参加を促していく必要がある。
- ・ 指導者が複数いることで練習内容が充実するだけでなく、指導者の都合による活動休止が避けられ、生徒の活動機会が確保できる。引き続き、研修会等を通じて人材の掘り起こしに努めていく必要がある。
- ・ 合わせて、現存の一つの部活動に複数の指導者を確保することは困難が見込まれるため、可能な場合は、複数の部活動（近隣の同一種目や少数種目）を統合し、統合した生徒を、地域団体などの組織から指導してもらうことを検討していく必要がある。



(バドミントン参加者)

(ソフトテニス参加者)

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



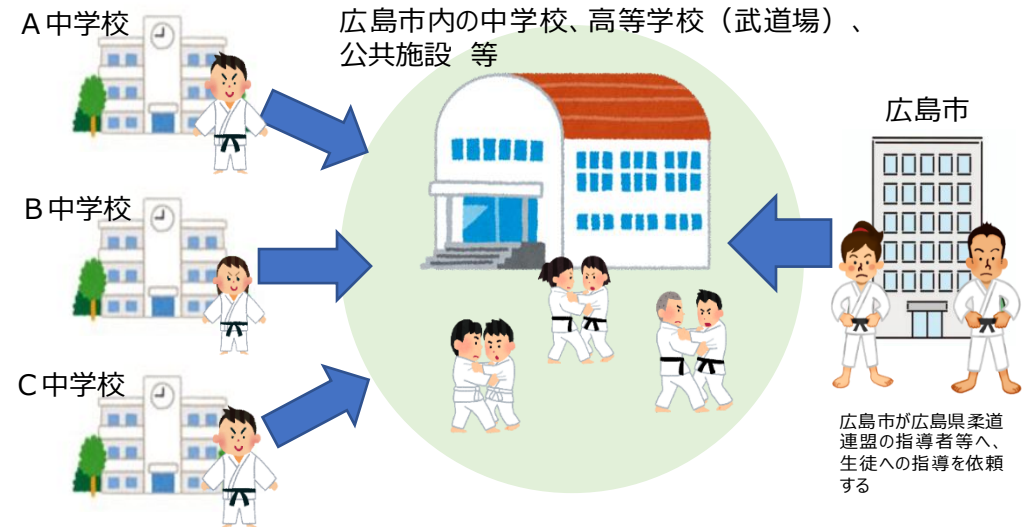
取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 競技経験の無い教員の指導や、専門的な技術指導に対応するため、競技団体や大学等による指導者派遣について検討する。
- 取組に当たっては、競技団体と綿密に連携するとともに、3つの部活動を保有する学校への聞き取りや説明を行った。また、3校から集まる会場の検討及び確保、指導者派遣の仕組みの検討を行った。
- 会場に関しては、交通アクセスが良い場所、または、駐車場が確保できる場所とした。
- 指導者派遣の仕組みに関しては、謝金の支払いや保険加入の事務手続きを行政が担うことで、指導に注力していただけるようにした。

イメージ図



取組の成果

- 休日のみではあるが、市内に3つしかない部活動の種目に所属する生徒を一か所に集め、そこへ競技団体の指導者を派遣するモデルを、令和7年度に行う計画を立案できた。

今後の課題と対応方針

- 指導者の確保の一環として、また、教員の負担軽減の策として、競技団体や大学等と連携した取組となるよう推進していく。また、部員数が少ないなど、類似する他種目への展開を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

○ 運営状況等の検証

体制整備や質の確保について、ヒアリングや活動状況の視察などから課題を把握し、対応策を講じる。

○ 運営団体兼実施主体

- ・ 早稲田学区体育協会
- ・ 戸坂卓球スポーツ少年団

取組の成果

- 委託契約に関わる書類作成や指導料の支払いに関する事務手続きが負担となる。
- モデルの運営団体からは、「報酬のために受け皿となっているわけではないものの、今後のモデルの拡大や、地域移行として展開していくためには、報酬があった方がよい。」といった意見があったことから、事務負担を軽減しつつ、指導者への報酬も支払える仕組みが必要となる。

今後の課題と対応方針

- 事務負担の軽減に関しては、現在の運営主体が実施主体を兼ねる体制から、指導料等の支払い等を担う運営主体を切り離し、実施主体の事務負担の軽減を図っていく。具体的には、まずは行政が人材バンク機能を構築し、人材バンクが指導料の支払いを行う。
- なお、こうした仕組みの汎用化が確認できれば、他の団体に運営主体を委譲する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

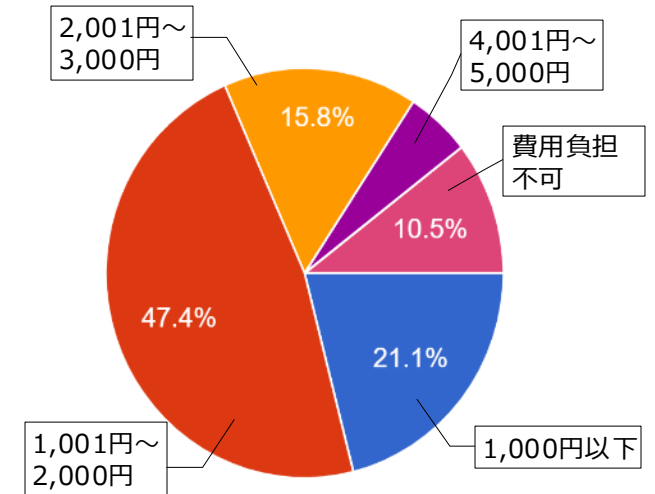
取組事項

- モデル参加者へのアンケート実施により、参加者の負担費用の在り方を検証する。
※協会や団体の登録料やスポーツ少年団主催の大会等への参加費、交通費等は受益者負担とする。

取組の成果

- モデル事業を実施した保護者を対象としたアンケートでは、こどもの休日における地域クラブ等での活動の妥当な負担額を聞いたところ、費用負担不可から5,000円までのばらつきがあった。
- 一方で、指導料として、1クラブ当たり、月額30,468円の費用が生じるため、参加者が負担する必要がある。

指導料（内訳）
（指導者 1,569円/時間） + （支援員970円/時間）
×12時間/月（練習：3時間/1回×4週） = 30,468円



令和6年度 休日の部活動の地域移行モデル事業
実践校へのアンケート調査(モデル校保護者)

今後の課題と対応方針

- 負担の可否によって活動が制限されないよう、行政による援助策の構築や、ふるさと納税等による財源の確保について検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 学校施設を管理する教育委員会と学校施設開放事業所管課のスポーツ振興課が連携し、地域移行に伴う学校施設利用のルールを設けることを検討する。今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、活動場所を確保するため、学校施設で実証事業活動を実施できるよう調整を行った。
- モデル校の中学校を運営主体と訪問し、事業への協力及び施設の利用について、部活動と同様に利用できるよう依頼した。

取組の成果

- モデル校においては、運営主体とモデル校の中学校を訪問し、運営主体との繋がりを深め、全25回の活動において、全ての活動で学校施設を利用できた。

例：休日の学校体育館の使用割り振り

時間帯	A面	B面
8:00~ 10:30	部活動ア	地域クラブ (モデル事業)
10:30~ 13:00	部活動イ	部活動ウ

今後の課題と対応方針

- モデル事業の活動日にモデル校の部活動も行われていることから、引き続き、学校に部活動と実証事業の活動が競合しないよう、事業趣旨の理解等を求める。
- モデル校では、平日の指導を行う顧問教員が、他の部活動との調整を行い、学校施設を利用している。今後、学校施設の利用調整に係る業務を誰が担うかの検討が必要である。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- 取組の成果
 - ・ 報酬等の支払いや契約上の報告など、運営主体に多くの事務負担が生じている。
 - ・ 「部活動の地域移行」に対する学校や保護者の理解が深まった。
 - ・ 平日の指導をしている部活動顧問教員の負担軽減につながった。
 - ・ 指導者の割り振りが可能な団体に指導を委託したことで、指導者の都合による活動休止が生じないため、より生徒の活動機会が確保できた。
 - ・ 休日の指導者と平日の指導者の連携により、一貫指導が行えた。

●成果の評価

- 課題
 - ・ 報酬等の支払いや契約上の報告など、運営主体の負担を軽減する必要がある。
 - ・ 「地域移行」に向けた取組内容や成果等を市域全体に周知する必要がある。

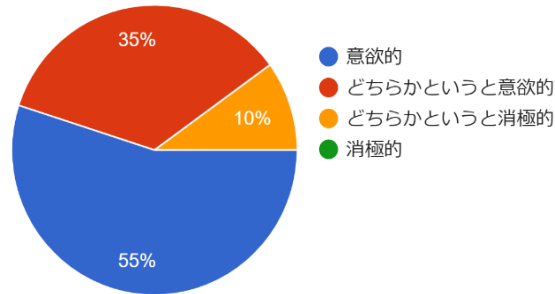
●今後に向けて

- 地域スポーツクラブ活動への移行は、一定の指導者が存在することや、OBなどの掘り起こしにより、指導者を確保できることも判明した。
- 一方で、最小限の人員により運営されている実情を鑑みると、事務負担などの新たな負担が生じることは移行の障壁となることも分かったことから、事務負担の軽減策を講じる必要がある。
- 地域移行に向けたモデル事業の実施内容等を、広く市域の地域スポーツ活動関係者に周知することで、事業モデルによる部活動の地域移行を加速していく必要がある。

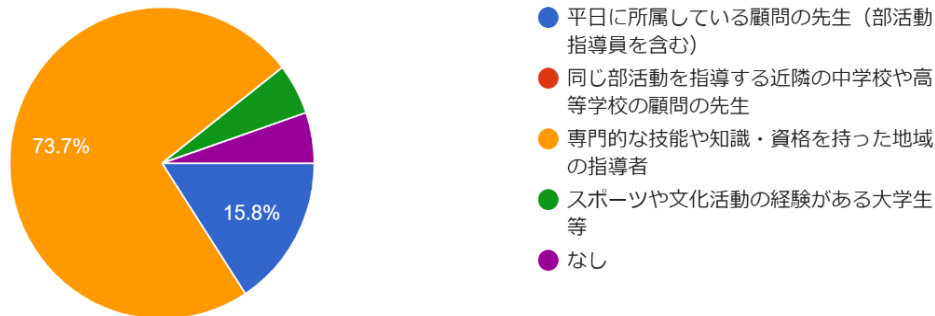
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

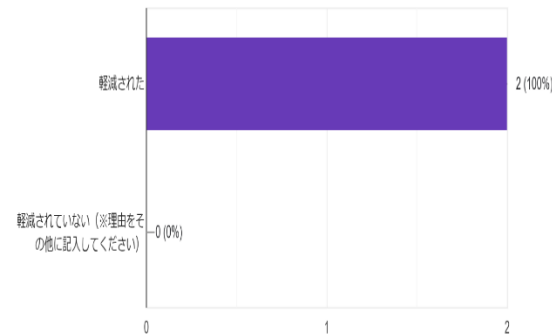
Q.休日の部活動（外部の指導者指導による活動は、意欲的に参加できますか？（モデル校生徒）



Q.お子様の休日の部活動が学校部活動ではなく地域クラブ等の活動になった場合、どのような指導者が良いと考えますか？（モデル校保護者）



Q.本モデル事業の実施により、顧問の先生の負担は軽減されましたか？（モデル校教員）



●参加者の声

参加中学生（休日に意欲的に参加できた理由）

- 分かりやすく教えてくれる。 ○専門的なことを学べる。
- 上手くなって良い結果が出せる。 ○上手になりたい。
- 新しいことを学べる。 ○楽しいから。
- OB、OGの方々に教えてもらえるのがすごく楽しい。

指導者

自分の指導内容が生徒に伝わり、生徒の技術力が向上してきたり、自分のプレースタイルに似てきたりすると、うれしく感じた。生徒は、競技の技術力だけでなく、その競技を通して成長してくれればと思うし、その支援をしたい。

保護者

子どもから、OB、OGにも来てもらって、勉強になったし楽しかったと聞いています。卓球のことだけでなく、大学や仕事のことも会話になることがあるらしく、様々な刺激をもらっていい経験をさせて頂いたと思っています。

保護者（地域移行に関するご意見）

学校単位ではなく、もう少し広い範囲で考えるとよいと思う。生徒数が少ない学校は、やりたい部活が選べない等の問題もある。範囲を広げると、送迎などの問題もあると思うが、平日は自主練習で週末のみ合同練習など、柔軟に対応していてもよいと思う。本格的に目指す生徒は市の選抜チームを作ったり、習い事に移行するなど。

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

校長会代表や広島市中学校体育連盟、広島市中学校文化連盟、本市のスポーツや文化芸術に係る関係部署等から構成される「広島市立学校部活動の在り方に係る意見交換会」を実施し、広島市立中学校における部活動の地域移行の方向性等について検討を行った。

令和4年

広島市立学校部活動の在り方に係る意見交換会開催

広島市の方針モデル事業の検討アンケート調査の実施

令和5年

- 令和5年度休日の部活動の地域移行モデル事業の実施
 - ・ 部活指導員等活用モデル1校13クラブ
 - ・ 学区体育協会等活用モデル1校1クラブ
 - ・ スポーツ少年団活用モデル1校1クラブ
- 休日の部活動の地域移行モデル事業の実施に向けた取組
 - ・ 広島市立学校部活動の在り方に係る意見交換会
 - ・ モデル校の指導者を対象にした指導者研修会を実施
 - ・ モデル校へのアンケートを実施
 - ・ 休日の部活動の地域移行に係る受け皿の拡大を目指した取組の一つとして、大学と連携し、吹奏楽イベントを開催

令和5年

休日の部活動の地域移行モデル事業実施

令和6年

休日の部活動の地域移行モデル事業拡大実施

令和6年

- 令和6年度休日の部活動の地域移行モデル事業の実施
 - ・ 部活指導員等活用モデル2校23クラブ
 - ・ 学区体育協会等活用モデル1校1クラブ
 - ・ スポーツ少年団活用モデル1校1クラブ
- 休日の部活動の地域移行モデル事業の実施に向けた取組
 - ・ 広島県と共催で公立中学校の運動部活地域連携・移行に係る指導者研修会を実施
 - ・ モデル校へのアンケートを実施
 - ・ 部活動の地域連携・地域移行に係る県外視察を実施

令和7年

- 令和7年度休日の部活動の地域移行モデル事業（予定）
 - ・ 部活指導員等活用モデル6校66クラブ
 - ・ 地域クラブ等指導者活用モデル8クラブ
- 休日の部活動の地域移行モデル事業の実施に向けた取組
 - ・ 広島市立学校部活動の在り方に係る意見交換会（予定）
 - ※ 令和8年度以降の取組等を検討（予定）
 - ・ 公立中学校の運動部活地域連携・移行に係る指導者研修会（予定）
 - ・ モデル校等へのアンケート調査（予定）
 - ・ 部活動の地域連携・地域移行に係る県外視察（予定）

令和7年

休日の部活動の地域移行モデル事業拡大実施

令和8年度以降

モデル事業の拡充等（現時点）

現時点（令和6年度末）においては、国や他の自治体の動向を注視しつつ、モデル事業の実施校数や実施クラブ数を広げることとしている。

休日に実施している部活動について、「地域移行モデル」を実施し、休日の部活動の地域移行に係る課題や方策についての検証等を行い、各学校や地域の実情を踏まえながら、休日の部活動の地域移行の実現を目指すこととした。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)
広島市 教育委員会 (指導第二課)	<ul style="list-style-type: none"> ・11校13クラブでモデル事業（地域連携）を実施 ・受け皿の掘り起こし（大学、競技団体、実業団等との連携） ・成果や課題を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・21校23クラブでモデル事業（地域連携）を実施 ・受け皿の掘り起こし（大学、競技団体、実業団等との連携） ・指導者研修事業の実施 ・成果や課題を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・64校66クラブでモデル事業（地域連携）を実施 ・受け皿の掘り起こし（大学、競技団体、実業団等との連携） ・指導者研修事業の実施 ・成果や課題を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業（地域連携）の拡大 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">モデル事業の実施校数や 実施クラブ数のさらなる拡大</p>
広島市 (スポーツ 振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・2校2クラブでモデル事業（地域移行）を実施 ・成果や課題を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・2校2クラブでのモデル事業（地域移行）を継続 ・課題への対応を検討 ・各地域におけるスポーツクラブ一覧を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・10校8クラブでのモデル事業（地域移行）を実施 ・成果や課題を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業（地域連携）の拡大 	